

地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ（葛塚地域）

第4回ワークショップの結果概要（案）

2017年1月21日（土） 豊栄地区公民館

【対策案】**■案の追加修正・新規提案**

※ 案の追加修正や新規提案は特になしを確認

■案全般

- ・ 機能集約しても現在と同等もしくはそれ以上の市民活動のためのスペースを確保すると共に、飲食ができる様に運用ルールを改善することを検討してほしい。
- ・ 葛塚東児童館を豊栄児童センターに機能集約してしまうと、多くの子供たちや保護者にとって通うのが遠くなり、不便になってしまう。児童館の土地は元斎場だったため売却が難しいことも予想されるので、現状の施設のままで維持できると良い。
- ・ 新庁舎を中心としたエリア内の施設間の移動の利便性と回遊性の向上のため、歩道や屋根付きの通路が整備できると良い。
- ・ 現庁舎と新庁舎の2つのエリアは比較的近い距離にあるので、拠点が2つに分かれているという認識ではなく、一体と考えて計画して良いのではないかと。
- ・ 保育園を民間委託にする場合は契約に条件を付けて、保育の質が確保されるようにしてほしい。
- ・ 今後は生徒数が減っていくのだから、給食センターは他地区の給食センターと統合した方が維持管理費の削減に繋がると思う。
- ・ 健康センターと公民館を近接させたり、親子が利用できる施設を集約することで利用率の向上を図るなど相乗効果が生まれる配置を考えてほしい。
- ・ いずれの案もコミュニティセンターを廃止としているが、コミュニティセンターの建物はまだ十分使えるのだから有効活用を考えるべきだ。
- ・ 駅周辺のお店を利用したくても駐車場がないので困っている。区役所本館の跡地を民間管理でもいいので駐車場にしてほしい。
- ・ 太田地域と葛塚地域は別のコミュニティなので、互いの事情がよくわからず、自分が住んでいない地区については意見が言いにくい。それぞれの地域の住民だけを集めて意見を聞き、検討した方が良いのではないかと。

■修正 A 案

<期待>

- ・ 施設を分散させるよりも集中させた方がワンストップで用事が足せるので、新庁舎に多くの機能を複合させ、利便性を高めるのは良いことだ。

<懸念>

- ・ 新庁舎に公民館やコミュニティセンターが入ることでこれまでより市民活動のスペースが狭くなり、部屋が取りにくくなったり大きなイベントができる空間がなくなってしまうのではないかと心配だ。
- ・ 新庁舎に施設が集中してしまうとこれまでとは人の流れが変わり、現庁舎周辺が廃れてしまうのではないかと心配だ。なんでもかんでも複合するのではなく、現庁舎と新庁舎とのバランスを踏まえて複合する機能を検討すべきだろう。
- ・ 太田小学校を民間に売却しても避難所機能を要件とするので現状と変わらないということだが、50年後も避難所機能を保持できるか心配だ。

<配慮事項・提案>

- ・ 多世代交流は地域密着型の活動だと思うので、新庁舎に入れるよりも地元の自治会館などの方が効果的な活動ができるのではないかと。場所だけあっても交流は生まれない。
- ・ コミュニティセンターは市ではなくコミュニティ協議会が運営しているので、空間としても独立していた方が管理運営がしやすく、独自性も維持できる。
- ・ 太田小学校の跡地は農村公園などがある立地をふまえ、農業的な利用の可能性を考えられると良いのではないかと。

■修正 B 案及び修正 B 案変形型

<期待>

- ・ 太田小学校を市の施設として保有したまま、避難所として使用できる点が良い。文書館として利用する際は、有事の際に避難所としての機能が十分に果たせる様に配慮してほしい。

<配慮事項・提案>

- ・ 区役所新館にサテライトキャンパスを誘致し、大学との連携を進められるとまちなかに若者の居場所ができ、より地域の活性化につながるのではないかと。車が使えない大学生にとっては駅からのアクセスの良さが重要なので、駅に近い区役所新館は利便性が高い。
- ・ 太田小学校を市の施設として残すのに、文書館としてだけ利用するのはもったいないので、老朽化している太田保育園を機能移転したり、音楽団体の練習場所などを整備することにより、地域活性化や一体感の形成に結び付けたい。

■修正 B 案変形型

<期待>

- ・ 線路の北側に高い建物ができることで避難所が整備され、老朽化しているすみれ保育園を建て替えられるので、防災と子育て支援の双方で評価できる。候補地は吟味してほしい。
- ・ コミュニティセンターや公民館が新館に入れば、コミュニティの拠点となり人が集まってくるので、まちにも人が流れることが期待できる。新館にどのくらいのスペースが取れるのかを検証し、本館跡地を駐車場にするなど、駐車場の確保も考慮した上で計画してほしい。
- ・ これから高齢者が増えることを考えると、コミュニティセンターと公民館を駅からのアクセスの良い新館に移すのは良いと思う。新館に移って、これまでより大人数で集まれる広さが確保でき、バリアフリーになることを期待している。

■修正 C 案

<期待>

- ・ 線路の北側に高い建物ができ、避難所として使える点が評価できる。

<配慮事項・提案>

- ・ 葛塚東ひまわりクラブは居住地域によってはアクセスしづらいので、すみれ保育園が複層化され機能が強化されるのであれば、すみれ保育園にひまわりクラブの機能も付加して、子育て拠点にできると良い。
- ・ 現区役所の新館を売却・貸付することになっているが、新館はまだ新しいのだから有効活用した方が無駄がないのではないか。

【評価軸について】

■評価全般

- ・ 複数の公共施設の再配置を組み合わせで総合的に判断するのが難しく、「機能」という言葉の定義も良くわからないので、評価表に対する意見が出しにくい。
- ・ 課題解決の狙いの表現や評価結果の文言が抽象的なので、評価が公正になされているのか判断しづらく、市の都合で評価していると感じる。評価軸をもっと具体的にしたり、評価方法を詳しく説明してもらいたい。
- ・ コストが減るのは良いことだが、それを重視しすぎて施設の使いやすさが失われしまうのは問題だ。コスト以外の評価項目を優先して考えてほしい。
- ・ 子育てに適した環境と高齢者の望む静かな環境とは相反関係にあり、両立が難しいと思うので、人口増加につながる子育て環境を整えることを優先に考えた方が良い。

■課題解決の狙いごとの評価軸・評価内容

①過度な財政負担が将来世代に残らない

- ・ コストについては積算根拠などについてもっと説明してもらわないと理解できないし、データの信ぴょう性も判断できない。
- ・ 試算しても精査すると予算が増えてしまうということは良くあることなので、現段階でコストの評価を重視する必要はないのではないか。
- ・ コスト削減効果ばかりに着目し、最終的にコスト重視の案が選択されてしまうのではないかと心配だ。

②空いた土地や既存の建物の有効利用、利用率を高める工夫、利便性向上を図る

- ・ 市民の活動に必要なスペースや機能がまかなえるかを評価軸に入れてほしい。
- ・ 施設を一カ所にまとめるのではなく分散していた方が、地域の人にとってはアクセスしやすく使いやすいので利用率が上がるのではないか。

③子育ての環境を整え地域の魅力を高める

- ・ 保育園と児童館の機能は別物なので決して相性は良くないと思うし、児童にはフリースペースではなく、地域や児童の実情を踏まえて遊びの指導や健全育成プログラムがつくられている児童館機能が必要である。
- ・ 児童館と児童センターが機能集約されると居住地域から遠くなる子ども達が出てくるので、通いにくくなり親の送迎もしにくくなる。「各地区に住む子ども達が行きやすい範囲で児童館のスペースが十分に確保できるか」は重要な評価のポイントだ。
- ・ 評価軸について特に問題はないと思う。

④若者・高齢者・障がい者の居場所をつくり地域を活性化させる

- ・ 公共施設を集約したからといって活性化につながるとは限らない。身近に施設があった方が活性化につながるという考え方もある。
- ・ 居場所があるかを評価軸にしていることに違和感がある。場所をつくれれば活性化するわけではなく、大切なのはソフト策だと思う。
- ・ 高齢者が活発に活動できるスペースが十分にあるかは予防医療の観点から重要なので、高齢者の居場所が確保できるかは必要な評価軸だと思う。
- ・ この地域には新潟医療福祉大学があるのだから、大学との連携の可能性も評価軸に追加してほしい。例えば、サテライトキャンパス設置の可能性、大学主催の市民講座開催や大学生と地域住民の交流の機会が増えるかなどが評価軸にならないか。

⑤地域のまとまり一体感を形成する

- ・ 機能を集約させれば地域の一体感が生まれ、活動が活性化するわけではない。「一体感が生まれる仕組みや企画等、ソフト的戦略がその施設配置や運営方法でできるのか」が重要だし、高齢者や子育て世代の交流のことを考えると「歩いて行ける範囲に地域密着型の拠点がある」方が良いのではないかな。
- ・ 地域それぞれで行われている市民活動の個性、地域に密着した活動を生かすためには、施設を中心の一カ所にまとめないで分散させた方が良い。
- ・ 地域活動の拠点創出という点では空き家を活用するなど民間の建物を有効利用することも考えられる。空いた土地や既存建物の有効利用について、公共施設の集約、複合化という評価軸だけで判断するのは不十分ではないかな。

⑥災害に強く安全な地域をつくる

- ・ 「現状で提供されている避難所機能が低下しないか」に加えて、「現状で避難所機能が欠けているエリアでの機能強化がなされるか」も判断する必要がある。
- ・ 津波や洪水が発生した際に避難所の総量が足りるかという評価軸も加えたい。

⑦アクセスしやすい公共施設配置とする

- ・ アクセスの向上を駅からの距離のみで判断をするのは不十分ではないかな。駅を利用する人以外の利便性を考え、周辺の道路や歩道の整備状況を評価軸に入れてほしい。
- ・ バスなどの公共交通のルートや頻度を充実することができる可能性についても評価軸に加えてはどうか。
- ・ 車を利用して移動している人が多い現状を踏まえると、駐車場がどのくらい確保できるのかを評価軸に入れてはどうか。
- ・ 現区役所エリアと新庁舎エリアの駅からの距離には大した差があるとは思えない。アクセス性の評価が◎と○とに分かれるほどではないと思う。

【新庁舎の検討内容と進め方について】

■新庁舎に複合する施設・機能

- ・ いろいろな施設が複合されるとコミュニティセンターや公民館のスペースが十分確保できるのか心配だ。スペースが確保できるか検証し、これまで同様もしくは拡充される方向で考えてほしい。
- ・ コミュニティセンターや公民館を新庁舎に入れると、これまで同様の面積が確保できないことに加え、不便になる、市の行事や会議優先で使われてしまう、管理運営の独自性が損なわれるなどの問題が発生する可能性があると思うので分離してほしい。
- ・ 今後高齢者が増えることを考えると、コミュニティセンターと公民館は駅からのアクセスが

便利な新館に移す方が良い。

- ・ 多くの世代が新庁舎に集うと共に、新庁舎周辺の児童センターや図書館などとの相乗効果を生み、利用者の利便性を向上させることを考えると、子育て支援センターの様な親子連れを対象とした施設を複合するのが良いのではないか。
- ・ 郷土博物館は今はあまり利用されていないので、人の集まる新庁舎に展示機能を移せば訪れる人が増え、学習の場、展示の場として有効活用できるのではないか。
- ・ 既存の公共施設の有効活用や民間建物の活用などによってコミュニティ施設の充実は図れると思うので、新庁舎には庁舎機能のみを導入してコンパクト化してはどうか。
- ・ 駐車スペースは今よりも広く確保してほしい。
- ・ 今後は海外からの旅行者への対応を充実させる必要があると思うので、新庁舎に外国人観光客向けの機能を持たせてほしい。

■新庁舎検討の進め方

- ・ 新庁舎基本構想の策定スケジュールは既に決まっているとのことなので、進め方について現段階で言うことはないが、これまでこのワークショップで出された新庁舎に関する意見をできるだけ反映してほしい。
- ・ 新庁舎基本構想検討会議とこのワークショップを並行して開催し、全体の議論が終わらない前に新庁舎の中身が決まってしまうという進め方に疑問がある。
- ・ 基本構想検討会議で新庁舎に関する案がある程度決まっているのだとしたら、それを前提にこのワークショップを進めた方が無駄がなかったのではないか。新庁舎関連施設以外の再配置は緊急性がないこともあり、この進め方で自分達の出した意見が本当に反映されるのか疑問だ。
- ・ 新庁舎基本構想がこのワークショップの対策案に影響すると思うので、次回のワークショップには基本構想の内容を理解して望みたい。基本構想は事前に送付してほしい。
- ・ 継続して市民参加の場を設けて完成後の新庁舎の利用状況を検証し、地域別実行計画に反映できると良いのではないか。